

令和5年度 まちづくり学習について

資料1

No.	学校名	まちづくり学習の主題・取組内容
1	第一小学校	<p>主題：まちづくり学習を通して、武蔵村山を愛し、貢献できる児童を育てる</p> <p>…武蔵村山市の様子や良さを郷土愛を育む、地域の方を講師として招聘し、地元の産業に興味を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-2年：デイサービスとの連携、高齢者とのふれあい ・3年：地域の農家を講師に招く ・6年：自分たちにできることは何か考える（昨年度6学年の取組内容の承継） ・市庁舎見学（まちたんけん）
2	第二小学校	<p>主題：責任感を持ち、自ら進んで、積極的に、ねばり強く物事に取り組める子供を育成する教育の推進</p> <p>…地域の農家との伝統文化（菊作り）の学習、都市計画課と連携してまちづくり計画を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3-6年：児童集会における学習内容の発表 ・4年：村山大島紬について学ぶ ・5年：モノレールの駅周辺のまちづくりについて考える
3	第三小学校	<p>主題：武蔵村山市盛り上げ隊～自分たちのできることに全力投球～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年：武蔵村山市の魅力を見つけ写真集をつくろう ・4年：花で武蔵村山市を盛り上げよう ・6年：フリーマーケットの実施（イオンモールむさし村山）
4	小中一貫校村山学園 第四小学校 第二中学校	<p>主題：自ら地域に関わり、よりよい地域づくりに主体的に参画する児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を深めるため講師の招へい（国立感染症研究所） ・かてうどん作り ・やってみかんパニー（有志による校庭のみかんを使ったジャム等の製造販売）
5	小中一貫校大南学園 第七小学校	<p>主題：地域に根ざした農業への理解を深める児童の育成 ～学級園活用を通して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育体験の充実（学校農園・調理実習の充実） ・第四中学校との連携 ・ミニ先生になろう（5年）、幼保小交流 ・ごみ削減の取組、発表、ポスターの作成・ごみ対策課窓口への掲示
6	第八小学校	<p>主題：まちづくり教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の実践に向けた計画の立案、一人1台端末による共有、メディアリテラシーの育成を図る ・地域人材を講師として招へい（観光まちづくり協会） ・政策づくり
7	第九小学校	<p>主題：地域に愛着を持ち、自分の住む地域の将来について考える児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化について、講師の招へい（かてうどん作りを学ぶ） ・学習発表会の実施

No.	学校名	まちづくり学習の主題・取組内容
8	第十小学校	<p>主題：豊かな人間関係を育む安心感のある集団づくり、地域資源を生かしたまちづくり学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間6回の研究授業を実施し、單元ごとに講師を招へい ・イオンモールむさし村山での職業体験 ・防災キャンプ ・夏まつり（野菜販売）
9	雷塚小学校	<p>主題：思いやりと笑顔あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育をもとにしたまちづくり
10	第一中学校	<p>主題：地域の伝統や文化を理解し、発展させていく生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内での実践活動 ・学校、家庭、地域との連携（チキチキフェスティバルの実施、講師によるダンスの授業や発表会）
11	第三中学校	<p>主題：まちづくり教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習 ・ふれあいフェスティバルにおけるゼロカーボン教育 ・講師による環境教育授業の実施
12	小中一貫校大南学園 第四中学校	<p>主題：まちづくり教育の推進</p> <p>…武蔵村山市の特色、地域、産業等についてテーマを設定して調べ学習、職場体験、発表を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年 むさむら調べ ・2年 ポスター作り
13	第五中学校	<p>主題：まちづくり教育の推進を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業調べ学習、職場体験学習 ・介護かるた絵札の作成（美術部）…「認知症サポーター養成講座」等の活動をしている本木様・高齢福祉課より依頼あり
<p>※ 市内中学生との意見交換会の実施 （以下は抜粋意見・提案）</p> <p>→ 市内にもっと勉強をできる場所が欲しい、（中学生になってからは）小学生の時よりも学校外に出て活動する機会が少ないとの意見</p> <p>→ 学校間交流の促進、各校の取組を広くPRし地域における活躍を広めたいとの提案</p>		

中学生との意見交換会 概要

1 実施日時

令和6年1月17日（水） 午後4時から午後5時まで

2 開催場所

武蔵村山市民会館 さくらホール1階研修室

3 内 容

教育長と中学生が意見交換を行い、中学生の考えを把握し、今後の教育施策や「まちづくり学習」の推進に役立てる。

4 参加者

教育長、指導・教育センター担当課長 市内中学校生徒 11名

5 協 議

「地域・学校をよりよくする、中学生のアクション」をテーマに、協議を行った。

(1) 要望

○市内に遊ぶ場所がない

- ・中学生が集まっていると不審がられる。公園でも小学生に怖がられたりする。
- ・そのため、遊ぶためにはイオンか市外に出ることになる。

○室内プールがほしい

- ・水泳部として、通年練習できる場所がほしい。
- ・関連して、かたくりの湯閉館、どのようになっていくのか。

○勉強する場所がほしい

- ・期末考査前など、友達と話し合いながら学習できる場所がない。
- ・ふれあいセンターで場所を貸し出しているが、17時までである。もう少し延ばしてほしい。
- ・結果、マクドナルド（岸）、イオンのフードコートで勉強する生徒が多く、注意を受けることがある。
- ・学校で学習場所を開放してもらっているが、先生が対応できないと開かないことや、私語禁止で自習中心のルールとなっている学校もある。
- ・市立図書館に学習スペースがない。個室ブースやパーテーションで区切るなどできたらいい。

○授業について

- ・小学生の頃より授業の中で話し合ったり、作業したりする時間がない。
- ・聞くだけ、写すだけの授業より、考える時間を取ってもらったほうが、やりがいがある。

※自由進捗で話し合いながら進めたいという生徒がいる一方で、今の先生が講義するスタイルのほうが好きという生徒もいた。

○まちづくり学習について

・小学生の時よりも、学校外に出て活動する機会が少ない。

※各校でよい取組をしているが、広く周知されないなので、教委も生徒も知らないことがたくさんあった。

(2) 提案

ア 学校間交流

・何らかの形で互いに取り組んでいる活動内容を把握する。

イ 学校の取組アピールの必要性

・生徒の活躍を地域に広める。

・市報に中学生ページを入れる。

・中学生新聞を作る（例：MM新聞）

・市内中学生を主体としたHP、SNS発信。

→ 他校の取組から刺激を受け、様々な面に波及させていきたい。

(3) その他

○市の企業連携について

・他市に比べ、企業連携・コラボなどの取組が少ないのではないかな。

○学校インターネットの改善

・校内でつながりにくい、オンラインなどが現状難しい状況にある。

○校則

・女子はポニーテールでないといけないと言われている。強く改善を求める。

○部活動について

・水泳部は今年度1年生が入らなかったなので、廃部の方向。維持できないかな。

→要望「室内プール」につながるもの。